

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月 18日

秋田市長 殿

提出者

住 所 秋田市外旭川字三後田266番地1

氏 名 株式会社 シブヤ建設工業
代表取締役 渋谷 守寿

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 018-868-0655

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 シブヤ建設工業
事業場の所在地	秋田市外旭川字三後田266番地1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D建設業 06 総合工事業
② 事業の規模	前年度元請完成工事高 1,049,787(千円)
③ 従業員数	22名 (令和5年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートガラ、アスコンがら、その他がれき、金属、木くず →破碎（再生処理業者へ委託） ・ガラス・陶磁器くず、廃プラ、紙くず、繊維くず、石膏ボード、 →破碎・埋立（最終処分者へ委託） ・混合→選別後再生可能な資源は再資源化（再生処理業者へ委託） <p>※その他においても適切な再生処理業者及び最終処分業者へ委託</p>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役



総務部



現場責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	同上	t
	(これまでに実施した取組) ・再生できるものを分別して再利用する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	同上	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場での分別に努める（コンクリートガラ、アスコンがら、その他がれき、金属、ガラス・陶磁器くず、硬質プラスチック、発泡スチロール、紙くず、繊維くず、石膏ボード、管理型混合、安定型混合、汚泥、石綿含有産廃、水銀使用製品、廃石綿等）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状に努める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組) ・自ら再生利用はしない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
(これまでに実施した取組) ・自ら中間処理はしない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組) ・自ら埋立処分又は海洋投入処分はしない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	同上	t
	優良認定処理業者への処理委託量	同上	t
	再生利用業者への処理委託量	同上	t
	認定熱回収業者への処理委託量	同上	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	同上	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に基づき、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施 ・電子マニフェストの導入で、処理の適正化を図る		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量	同上	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	同上	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	同上	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	同上	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	同上	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に基づき、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による 契約の締結 ・できる限り、再生処理業者へ委託するとともに優良認定処理業者へ委 託する ・電子マニフェストの推進			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

令和5年度 産業廃棄物処理計画

株式会社 シブヤ建設工業

産業廃棄物の種類	実績・目標	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(第2面)	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項(第3面)	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項(第3～第4面)		自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項(第4面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項(第4面～5面)				
		排出量(t)	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	自ら行った埋立処分または海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	他社への処分委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の処理委託量
1 コンクリートがら	実績	560.060					560.06	205.34	546.62		
	目標	500.000					500.000				
2 アスコンがら	実績	41.100					41.1	15.1	41.1		
	目標	30.000					30				
3 その他がれき類	実績	17.100					17.1	0	10.3		
	目標	10.000					10				
4 ガラス・陶器くず	実績	28.280					28.28	4.63	1.03		
	目標	10.000					10				
5 ガラス・陶磁器くず・石綿含有産廃	実績	12.280					12.28	0	0		
	目標	5.000					5				
6 <small>ガラス・陶磁器くず・金属(水銀使用製品)廃蛍光灯</small>	実績	0.088					0.088	0.25	0.25		
	目標	0.000					0				
7 廃プラスチック	実績	94.820					94.82	74.9	0.31		
	目標	50.000					50				
8 廃プラ・石綿含有産廃	実績	5.870					5.87	0	0		
	目標	3.000					3				
9 金属くず	実績	113.770					113.77	0	113.77		
	目標	50.000					50				
10 混合(安定型のみ)	実績	84.500					84.5	84.5	84.5		
	目標	40.000					40				
10 混合(管理型含む)	実績	172.000					172	172	0.02		
	目標	70.000					70				
11 石綿含有産業廃棄物	実績	27.750					27.75	0	0		
	目標	10.000					10				
12 紙くず	実績	0.160					0.16	0.16	0		
	目標	0.000					0				
13 木くず	実績	139.940					139.94	3.58	139.94		
	目標	60.000					60				
14 繊維くず	実績	3.130					3.13	0	0		
	目標	2.000					2				
15 廃石膏ボード	実績	160.270					160.27	0	19.2		
	目標	80.000					80				
合計	実績	1461.118					1461.118	560.46	957.04		
	目標	920.000					920	0	0		